

ペットボトルが欲しいわけ

「ペットボトルちょうだい！大きいのがいいんだけどあるかなあ？」具体的な要求に「何を考えているんだろう？」と気になりながら、1.5リットルのペットボトルを手渡しました。「ありがとう」と受け取り、そのまま水道へ。水を入れて、走っていったところは砂場でした。遊ぶ様子を見て、「なるほど！だからペットボトルがほしかったんだ」バケツや鍋ではない理由がわかりました。

わくわく園庭日記

蒲幼稚園 No.14 R3,3,12

春の天気は気まぐれです。暖かい日差しと冷たい雨を繰り返し、徐々に徐々に春らしくなっています。11月に子どもたちと植えたチューリップが芽を出し、ぐんぐん大きくなってきました。もう間もなく、かわいいつぼみが顔をのぞかせることでしょう。



↑「ちゅうりっぷ」の看板は、月組さんが書いてくれました。



砂の中には、塩ビパイプが埋め込まれています。だから、水を注ぐには、ペットボトルのように注ぎ口が細い入れ物がよかったんですね。

水は流れて…



塩ビパイプは、30cmほどの長さなので、砂山の中には、何本もつなげて埋めてあるんです。さあ、水は反対側出口まで到達するでしょうか？

水は流れて…



水は、ちゃんと出てきました。友だちと一緒に、このドキドキ感を味わうことが、個を育て、集団を育てていきます。

こんなものも作っちゃいました！



突如現れた大きなテント！キャンプごっこを始めた月組さんと竹で骨組みを作り、布を張って作りました。さらに畳を敷いて椅子や机を並べると…なんと素敵な空間の出来上がり！

テントには、入れ代わり立ち代わり子どもがやってきて、様々なごっこ遊びを繰り返しています。「今度は、バーベキューをしようよ」子どものイメージをどうやって実現するか？私たちが試行錯誤の連続です。



みんな何して遊んでる？

今日は、何して遊ぼうか？



高いチャレンジタワーは、チャレンジするだけでなく、ほっとするくつろぎの場所に！

園庭整備は、これからも続きます！

『わくわく園庭日記』では、園庭で繰り広げられた様々な遊び、子どもの姿をお伝えしてきました。体も心も大きく成長していく場所として、私たちは、これからも園庭の環境についての学びを進めていきます。この春休みには、大きな砂場を作る予定です。よりダイナミックに、より創造的に、より深いかかわりをもって、外遊びの基本となる砂遊びを充実させたいと考えているからです。新学期、どのような砂場が出来上がっているのか楽しみにして下さい。

いよいよ幼稚園を巣立っていく月組さんには、ここで遊んだ経験を基に、小学校でも楽しく学びを進めていってほしいと願います。そして、また遊びに来てください。私たちは、いつでも待っています。

最後までお読みくださり、ありがとうございました。来年度も出来るだけたくさんの子どもの様子をお伝えできるよう努力してまいります。

そして、来年度からは保護者の方と一緒に！

先日の星組・花組・雪組に呼びかけたプロジェクトメンバー募集に対し、4名の参加希望がありました。子どもの遊びに、また園庭整備に興味を持った方がいらっしまったことは大変嬉しく、思わず涙がこぼれました。子どもを中心に共に繋がり合うこと、これも幼稚園の大事な役割だと思っています。みんなで楽しく活動していきましょう！どうぞ、よろしくお願いいたします！